



2022年4月28日

各 位

会社名 ペットゴー株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 黒澤 弘  
 (コード番号：7140 東証グロース市場)  
 問合せ先 執行役員経営企画部長 佐藤 建史  
 (TEL 03-5333-2830)

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2022年4月28日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の2022年3月期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

| 項目                           | 2022年3月期<br>(予想) |            |      | 2022年3月期<br>第3四半期累計期間<br>(実績) |       | 2021年3月期<br>(実績) |       |
|------------------------------|------------------|------------|------|-------------------------------|-------|------------------|-------|
|                              | 対売上<br>高比率       | 対前期<br>増減率 |      | 対売上<br>高比率                    |       | 対売上<br>高比率       |       |
| 売上高                          | 9,613            | 100.0      | 1.7  | 7,127                         | 100.0 | 9,455            | 100.0 |
| 営業利益                         | 164              | 1.7        | 64.4 | 119                           | 1.6   | 99               | 1.0   |
| 経常利益                         | 151              | 1.6        | 34.5 | 109                           | 1.5   | 112              | 1.1   |
| 親会社株主に帰属<br>する当期(四半期)<br>純利益 | 104              | 1.1        | 46.9 | 74                            | 1.0   | 71               | 0.7   |
| 1株当たり当期<br>(四半期)純利益          | 87円33銭           |            |      | 62円66銭                        |       | 59円46銭           |       |
| 1株当たり配当金                     | 0円00銭            |            |      | —                             |       | 0円00銭            |       |

- (注) 1. 当社は、2021年12月4日付で、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。
2. 2021年3月期(実績)、2022年3月期第3四半期累計期間(実績)及び2022年3月期(予想)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均株式数により算出しております。なお、当社は基準日(2022年3月31日)を超えての新株発行となることから、2022年3月期(予想)において、発行済株式数の増加は見込んでおりません。
3. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており2022年3月期第3四半期累計期間(実績)及び2022年3月期(予想)に係る数値等については、当該会計基準等を適用した後の数値等となっております。
4. 2022年3月期の予想値は、2021年4月から2022年2月までは実績数値になっており、2022年3月の予測数値を合算して策定した数値となっております。

## 【2022年3月期業績予想の前提条件】

### 1. 当社グループ全体の見通し

当社グループは、「ペットのQOL向上」に役立つ犬猫の食事療法食や動物用医薬品、サプリメントなどのペットヘルスケア商品をEコマースで販売するペットヘルスケア事業を運営しております。

当社グループの事業の特徴は、「マルチコマース展開」「サブスクコマース（定期購入）展開」「D2Cブランド展開」の3つとなります。

#### ① マルチコマース展開

当社グループの主な取扱商材は、犬猫の日々の健康をサポートするペットヘルスケア商品が大半を占めており、定期的に消費されるものであることから、できるだけ多くのペットオーナーが利用しやすいよう自社オンラインサイトに加え、他社オンラインモールにも複数出店し、ペットヘルスケアに特化したマルチコマースを展開しております。

#### ② サブスクコマース展開（定期購入）

自社オンラインサイトにおける購入形態の1つとして定期購入を展開しており、新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式の変化もあり、2020年4月以降大きく成長しております。

#### ③ D2Cブランド展開

当社グループは、2021年3月期より、ペットヘルスケアD2Cブランド「ベッツワン」シリーズを発売しております。

ペットヘルスケア事業の市場環境としては、一般社団法人ペットフード協会が2021年12月に発表した「2021年全国犬・猫飼育実態調査」によると、犬の飼育頭数は7,106千頭と昨年の7,341千頭から減少、猫は8,946千頭と昨年の8,628千頭から増加となっております。一方で1年以内新規飼育者の飼育頭数は、犬は397千頭、猫は489千頭と新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して増加傾向にあります。

世帯別の飼育率は犬が昨年より0.5%減少の9.7%、猫が昨年より0.2%増加の8.9%となりました。また、平均寿命は犬が14.65歳、猫が15.66歳と引き続き高齢化傾向にあります。

また、総務省が2021年2月に発表した「家計調査」によると、総世帯平均のペット関連年間支出額は21,129円（前年20,256円）に拡大しており、ペット関連支出が高くなっております。

ペット市場の規模については、株式会社矢野経済研究所が2021年1月に発刊した「ペットビジネスマーケティング総覧2021年版」によると、2020年度ペット関連総市場規模は小売金額ベースで前年度比3.4%増の1兆6,242億円で推移し、2021年度は前年度比1.9%増の1兆6,543億円と予想されております。この背景には、新型コロナウイルス感染症により、生活様式に変化が生じたことで新規でのペット飼育者が増加したことに加えて、ペットと過ごす時間が増えたことによりペットは大事な家族の一員であるという飼育者の意識がより一層深まっていること、犬猫の食事療法食や動物用医薬品、サプリメントなどの犬猫のペットヘルスケア商品及びペットライフをサポートする医療サービスやペット保険等が普及拡大していること等があげられます。

以上から、犬の飼育頭数が減少傾向、猫の飼育頭数は横ばい傾向ではありますが、「新規飼育頭数の増加」、「ペット関連支出の増加」及び「犬猫の平均寿命」の伸長により、ペット市場は今後も堅調に推移していくことが予想されます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により引き続き厳しい状態となっておりますが、当社グループの主たる商品であるペットフードやペット用品は犬猫の日常生活に必要な消費財であるため、景気による影響を受けにくい商品であります。

このような経済環境の中、2020年4月より主力商品である食事療法食及び動物用医薬品においてD2Cブランド製品の販売を開始するとともに、D2Cブランド製品の品揃えの拡充に努め着実な成長させてまいりました。また、自社オンラインサイトでの定期購入の利便性向上に対する施策を実施した結果、売上高に占める定期購入売上高の比率が上昇しております。

この結果、2022年3月期第3四半期累計の実績は好調に推移しました。これを踏まえ、2022年3月期の業績予想は、売上高は9,613百万円（前連結会計年度比1.7%増）、営業利益は164百万円（前連結会計年度比64.4%増）、経常利益は151百万円（前連結会計年度比34.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は104百万円（前連結会計年度比46.9%増）を見込んでおります。

## 2. 業績予想の前提条件

当社グループの業績予想は、2021年4月から2022年2月までは実績数値になっており、2022年3月の予測数値を合算して策定した数値となっております。

予測数値の策定方法は、以下の通りとなります。

### ①売上高

当社グループの売上高は、商品売上高及びそれに付随する送料売上高、手数料売上高で構成されたものから、売上戻り高、クーポン費、ポイント費等を差し引いた純売上高となります。

前期の「店舗別ブランド別注文件数の実績」を基礎として直近のペットヘルスケア市場、モールの成長率やメーカー動向、販促施策等を加味した当期の「店舗別ブランド別注文件数の見込み」に、過去1年間の実績を基にした平均単価を乗じて商品売上高を算定しております。

なお、D2Cブランド商品については今後の主力商品に育てるため販売促進を重点的に行っていく計画であり、成長率も他の商品に対して高く設定しております。

送料売上高、手数料売上高、売上戻り高については大きな変動要因はなく、前期と同水準になるものと見込んでおります。一方で、クーポン費、ポイント費については、将来の成長に向けた投資を拡大しているため、2022年3月期見込みでは、2021年3月期に対して32百万円の増加となる見込みです。

また、収益認識の基準が変更となったことにより、2021年3月期までは販売費及び一般管理費として計上していたクーポン費、ポイント費、販売手数料の一部は、2022年3月期の期首より売上高のマイナスとして計上する方法に変更しております。2022年3月期の業績見込みへの影響としては、売上高が208百万円減少しているのに対して、販売費及び一般管理費もほぼ同額減少しているため、営業利益へ与える影響は軽微となります。

以上の結果から、売上高は9,613百万円(前連結会計年度比1.7%増)と見込んでおります。

### ②売上原価、売上総利益

当社グループの売上原価は、主に商品の原価によって構成されております。売上原価率は、2022年3月期において商品の仕入価格に大きな変動はなく、売上総利益率の改善分だけ減少するものと見込んでおります。売上総利益率については店舗別・ブランド別の前期実績を基に直近半年間のトレンドを加味して算定しており、D2Cブランド商品のシェアが高まっていくことで、若干上昇するものと見込んでおります。また、前述の収益認識の基準が変更となった影響により、売上総利益が206百万円減少しております。

以上の結果から、売上原価は7,057百万円(前連結会計年度比2.7%増)、売上総利益は2,556百万円(前連結会計年度比1.1%減)と見込んでおります。なお、収益認識基準の変更がなかったと仮定した場合、売上総利益は2,762百万円となり、前連結会計年度比6.9%増と見込まれます。

### ③販売費及び一般管理費、営業利益

当社グループの販売費及び一般管理費は、主に、変動費としての性格を持つ運賃及び荷造費、販売手数料、決済手数料、固定費としての性格を持つ人件費、地代家賃、戦略的な投資費用である広告宣伝費、販売促進費、研究開発費に分類されます。

#### (変動費用)

運賃及び荷造費、販売手数料、決済手数料については、商品売上高に対する割合に大きな変動は見込んでおりません。そのため、店舗毎の商品売上高に対して前年度の実績に基づいて算定した割合を乗じることで算出をしております。

#### (固定費用)

人件費は人員計画に基づき策定しており、人員増強を加味しております。地代家賃は物流センターの拡張計画を加味しております。その他固定費については、前年度の実績を基に、2022年3月期において必要とする費用を見積もり計画に織り込んでおります。

#### (戦略的な投資費用)

広告宣伝費、その他販売促進費、研究開発費は、将来の成長に向けた投資費用やD2Cブランドの開発に関する費用を見込んでおります。

以上の結果から、2022年3月期の販売費および一般管理費は2,392百万円(前連結会計年度比3.7%減)と見込んでおります。なお、収益認識基準の変更がなかったと仮定した場合、販売費および一般管理費は2,598百万円となり、前連結会計年度比4.6%増加と見込まれます。

また、営業利益は、164百万円(前連結会計年度比64.4%増)と見込まれます。

④営業外損益、経常利益

第三者が他者のクレジットカードを不正利用したことにより、当社グループが被害を受けた額8百万円を営業外費用に計上しております。

また、物流センター内の一部を転貸借しており、受取賃料を23百万円、支払賃料を22百万円と見込んでおり、金融機関からの借入に係る支払利息を7百万円と見込んでおります。

以上の結果から、2022年3月期の経常利益は、151百万円(前連結会計年度比34.5%増)と見込まれます。

⑤特別損益、法人税等、親会社株主に帰属する当期純利益

現状、特別利益及び特別損失は見込んでおりません。

税金費用を加味した結果、2022年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は104百万円(前連結会計年度比46.9%増)と見込んでおります。

**【業績予想に関するご留意事項】**

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月28日

上場会社名 ペットゴー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7140 URL <https://corp.petgo.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒澤 弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 佐藤 建史 (TEL) 03(5333)2830  
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

|               | 売上高   |   | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 親会社株主に帰属する四半期純利益 |   |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|------------------|---|
|               | 百万円   | % | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円              | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 7,127 | — | 119  | — | 109  | — | 74               | — |
| 2021年3月期第3四半期 | —     | — | —    | — | —    | — | —                | — |

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 74百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 一百万円(—%)

|               | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
|               | 円 銭             | 円 銭                    |
| 2022年3月期第3四半期 | 62.66           | —                      |
| 2021年3月期第3四半期 | —               | —                      |

- (注) 1. 2021年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2022年3月期第3四半期の末日において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
3. 当社は、2021年12月4日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

|               | 総資産   | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-----|--------|
|               | 百万円   | 百万円 | %      |
| 2022年3月期第3四半期 | 2,389 | 424 | 17.8   |
| 2021年3月期      | 2,293 | 349 | 15.2   |

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 424百万円 2021年3月期 349百万円

### 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |      |      |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 2021年3月期     | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 |
| 2022年3月期     | —      | 0.00   | —      | —    | —    |
| 2022年3月期(予想) | —      | —      | —      | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

|     | 売上高   |     | 営業利益 |      | 経常利益 |      | 親会社株主に帰属する当期純利益 |      | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----|-------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
|     | 百万円   | %   | 百万円  | %    | 百万円  | %    | 百万円             | %    | 円 銭            |
| 通 期 | 9,613 | 1.7 | 164  | 64.4 | 151  | 34.5 | 104             | 46.9 | 87.33          |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

2. 当社は2021年12月4日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

|                     |            |            |            |            |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期3Q | 1,196,200株 | 2021年3月期   | 1,196,200株 |
| ② 期末自己株式数           | 2022年3月期3Q | 一株         | 2021年3月期   | 一株         |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    | 2022年3月期3Q | 1,196,200株 | 2021年3月期3Q | 一株         |

(注) 1. 2021年3月期第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年3月期第3四半期連結累計期間に係る期中平均株式数は記載しておりません。

2. 当社は、2021年12月4日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....           | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 .....               | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 .....               | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....    | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....           | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 .....               | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....        | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) .....              | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....     | 7 |
| (会計方針の変更等) .....                   | 7 |
| (セグメント情報) .....                    | 7 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、今後の見通しを含め、不透明感が高まっている状態となっておりますが、当社グループの主たる商品であるペットフードやペット用品は犬猫の日常生活に必要な消費財であるため、景気による影響を受けにくい商品であります。

このような、経済環境の中、当社グループが属するペット業界におきましては、犬の飼育頭数は減少傾向、猫の飼育頭数は増加傾向であります、「新規飼育頭数の増加」、「ペット関連支出の増加」及び「犬猫の平均寿命の伸長」により、ペット市場は今後も堅調に推移していくことが予想されます。このような状況の中、当社グループは「ハッピーペットライフ・ハッピーワールド～ペットライフを幸せに・世の中を幸せに」という当社のスローガンを実現すべく事業に取り組んでまいりました。

当第3四半連結累計期間については、新規店舗のオープン、D2Cブランド商品の品揃えの拡充、新しい倉庫管理システムの導入及び適切な販売促進の施策を実施しました。

これらの結果、当社グループの業績は順調に推移し、売上高7,127,324千円、営業利益は119,614千円、経常利益は109,032千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は74,947千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、95,953千円増加し、2,389,644千円となりました。これは主に、商品が101,361千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計額は、前連結会計年度末と比較して、20,651千円増加し、1,965,035千円となりました。これは主に、買掛金が188,968千円減少したのに対して借入金が増加した298,765千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、75,301千円増加し、424,608千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益74,947千円の計上によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、本日開示いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等は、当社が本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

|            | 前連結会計年度<br>(2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2021年12月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部       |                         |                               |
| 流動資産       |                         |                               |
| 現金及び預金     | 861,961                 | 850,881                       |
| 売掛金        | 612,105                 | 632,530                       |
| 商品         | 682,167                 | 783,528                       |
| 貯蔵品        | 4,684                   | 6,665                         |
| その他        | 41,611                  | 46,674                        |
| 流動資産合計     | 2,202,529               | 2,320,280                     |
| 固定資産       |                         |                               |
| 有形固定資産     |                         |                               |
| 建物         | 46,741                  | 47,671                        |
| 車両運搬具      | 4,251                   | 4,251                         |
| 工具、器具及び備品  | 59,328                  | 61,069                        |
| リース資産      | 3,428                   | 3,428                         |
| 減価償却累計額    | △68,619                 | △76,876                       |
| 有形固定資産合計   | 45,129                  | 39,543                        |
| 無形固定資産     |                         |                               |
| ソフトウェア     | 5,456                   | 3,863                         |
| その他        | 520                     | 380                           |
| 無形固定資産合計   | 5,977                   | 4,243                         |
| 投資その他の資産   |                         |                               |
| 繰延税金資産     | 16,543                  | 2,338                         |
| その他        | 23,510                  | 23,237                        |
| 投資その他の資産合計 | 40,054                  | 25,576                        |
| 固定資産合計     | 91,161                  | 69,364                        |
| 資産合計       | 2,293,691               | 2,389,644                     |

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                               |
| 流動負債          |                         |                               |
| 買掛金           | 825,779                 | 636,810                       |
| 短期借入金         | 457,950                 | 573,198                       |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 159,072                 | 196,840                       |
| 未払金           | 211,463                 | 202,286                       |
| 未払法人税等        | 52,982                  | 4,964                         |
| ポイント引当金       | 13,958                  | —                             |
| 賞与引当金         | 31,953                  | 8,260                         |
| その他           | 46,846                  | 52,612                        |
| 流動負債合計        | 1,800,005               | 1,674,972                     |
| 固定負債          |                         |                               |
| 長期借入金         | 116,922                 | 262,671                       |
| 資産除去債務        | 23,703                  | 24,633                        |
| その他           | 3,752                   | 2,758                         |
| 固定負債合計        | 144,378                 | 290,063                       |
| 負債合計          | 1,944,383               | 1,965,035                     |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                               |
| 株主資本          |                         |                               |
| 資本金           | 279,740                 | 279,740                       |
| 資本剰余金         | 236,739                 | 236,739                       |
| 利益剰余金         | △167,172                | △91,871                       |
| 株主資本合計        | 349,307                 | 424,608                       |
| 純資産合計         | 349,307                 | 424,608                       |
| 負債純資産合計       | 2,293,691               | 2,389,644                     |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

|                  | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2021年4月1日<br>至 2021年12月31日) |
|------------------|--|
| 売上高              | 7,127,324                                      |
| 売上原価             | 5,231,320                                      |
| 売上総利益            | 1,896,003                                      |
| 販売費及び一般管理費       | 1,776,388                                      |
| 営業利益             | 119,614  |
| 営業外収益            |  |
| 受取利息             | 4  |
| 受取賃料             | 17,367   |
| その他              | 2,747  |
| 営業外収益合計          | 20,119   |
| 営業外費用            |  |
| 支払利息             | 5,293  |
| 支払賃料             | 16,746   |
| チャージバック損失        | 8,661  |
| その他              | 0  |
| 営業外費用合計          | 30,701   |
| 経常利益             | 109,032  |
| 税金等調整前四半期純利益     | 109,032  |
| 法人税、住民税及び事業税     | 20,036   |
| 法人税等調整額          | 14,048   |
| 法人税等合計           | 34,085   |
| 四半期純利益           | 74,947   |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 74,947   |

四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

|                 | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2021年4月1日<br>至 2021年12月31日) |
|-----------------|--|
| 四半期純利益          | 74,947   |
| その他の包括利益        | —  |
| 四半期包括利益         | 74,947   |
| (内訳)            |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 74,947   |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりとなります。

当社グループは、カスタマー・ロイヤルティ・プログラムとして、主に自社オンラインサイトでの会員の購入金額に応じてペットゴーポイント(以下「ポイント」という。)を付与しております。従前は付与したポイントの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額をポイント引当金として計上し、ポイント引当金繰入額を販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、付与したポイントを履行義務として識別し、将来の失効見込み等を考慮して算定された独立販売価格を基礎として、取引価格の配分を行う方法へ変更し、契約負債を流動負債の「その他」に含めて表示しております。また、返品されると見込まれる商品については、売上高及び売上原価相当額を認識しない方法に変更しており、返金負債を流動負債の「その他」及び返品資産を流動資産の「その他」に含めて表示しております。また、従前は販売費及び一般管理費として計上していた販売促進のための費用は、売上高から減額しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は152,689千円減少し、売上原価は1,571千円減少し、販売費及び一般管理費は151,186千円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ68千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高への影響は軽微であります。

(セグメント情報)

当社グループは、ペットヘルスケア事業及びこれに関連する各種サービスを提供する単一の事業を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。